

## 【5用語】

ブリユナ（ポール・ブリユーナ）…フランス人、貿易商社の生糸検査技師として明治二年（一八六九）来日、官営富岡製糸場設立に尽力、初代所長大属（だいぞく・だいさかん）…四等官である属官の中の上位者

擯斥（ひんせき）…しりぞける、のけものにするこゝと、排斥

狡猾（こうかつ）…悪がしこいこゝと

建白（けんぱく）…政府・上役などに自分の意見を申し立てること

瑞西岡士館（スイス）…スイス国の領事館のこと

通商司（つうしょうし）…明治政府の経済官庁、明治二年（一八六九）二月に各開港場に置かれた貿易事務処理機関、明治四年廃止

## 【5解説】

旧前橋藩士の速水堅曹好信（天保十年〜大正二年）は、近代産業の黎明期の明治初年、わが国で最も早く洋式器械を導入し、前橋藩お雇いのスイス人技師ミューラーの指導により明治三年（一八七〇）七月、藩営前橋製糸所を設立した。また、二度にわたって官営富岡製糸場の所長を務めるなど、本県の製糸業界の発展に大きく貢献した製糸技術者として知られている。

本記録は、堅曹七十五年の生涯のうち天保十年（一八三九）から明治十六年までの四十四年間の前半生を年次を追って記している。なかでも明治三年の記述では、ミューラーの来県、伊香保や下仁田等の県内各地への同行、製糸所の設置、富岡製糸場予定地の視察に来たブリユーナら一行との面談のことなどが記されている。